

第17回品質工学技術戦略研究発表大会 (RQES2024A)

フロントローディングの核心とは何か？

—主催：(一社)品質工学会—

第17回品質工学技術戦略研究発表大会 (RQES2024A) を下記の通り開催します。品質工学会では「社会損失低減による社会の自由の総和の拡大」実現に向け、「これまでの品質工学の普及」および「今後の社会損失低減を図る研究」に取り組んでおりその内容について報告します。本大会は、昨年から技術戦略を徹底的に議論する場となるよう、発表と議論の時間を大幅に増やした新しいスタイルへ変更しました。参加者との議論にて各発表者の研究内容がより洗練されることを期待します。

品質工学における「社会損失低減による社会の自由の総和の拡大」の活動成果と今後の取り組みを議論することを目的に表記大会テーマを設定し下記の通り開催します。地球温暖化、自然災害、少子高齢化、社会インフラの老朽化、戦争やテロ、品質偽装など、多くの社会課題が存在する中で、品質工学はどのように社会貢献ができるのか、新たな方向性を模索する場の一つにしたいと考えています。

品質工学の目指すところは社会損失の低減ですが、狭義の損失低減にとどまらず、同時に新たな価値の創造につながることを期待されています。ところが現状は、開発の効率化、継続的なMBDやDXの実現に苦勞している企業が多く窺えます。技術マネジメントとして品質工学をどのようにうまく活用していけるのか、先進企業の取り組み事例の報告も行い、これらをもとに「品質工学による社会損失低減に向けた具体的な活動の提案」について議論を進めたいと思います。この議論の中で、フロントローディングの核心とは何かを明らかにし成果をつかみ取る開発プロセスを深く探求します。

大会にご参加いただいた皆様の気づきに繋がることを強く期待します。

記

日時：2024年11月21日(木) 10:00～17:00 (受付は9:30より開始)

場所：統計数理研究所 (リモートとのハイブリッド開催)

〒190-8562 東京都立川市緑町10-3

参加費：会員10,000円、非会員20,000円 (200名定員) 定員になり次第締切り

懇親会：(定員100名) 定員になり次第締切り

(懇親会参加費 6,000円 懇親会のみ参加はできません。)

プログラム

総司会：衛藤洋仁 (いすゞ自動車(株))

西野真司 (日産自動車(株))

9:50～10:00 開会

佐藤吉治 (品質工学会会長)

10:00～11:00 研究発表1 「フロントローディングの全体像と課題」

吉澤正孝 (クオリティディーブマーツLLP)

11:00～12:00 研究発表2 「機能開発によるフロントローディングの実現」

武重伸秀 (マツダ(株))

12:00～13:30 (昼休憩)

13:30～14:30 研究発表3 「フィラーリッド開発のフロントローディング」

三石直人 (マツダ(株))

14:30～15:30 研究発表4 「T7活用のフロントローディングによる技術の創り込み」

細川哲夫 (QECOMPASS), 森 富也 (ETRIA(株))

15:30～15:45 (休憩)

15:45～16:55 パネルディスカッション：「フロントローディングの核心とは？」

司会：吉原 均 (NMS研究会) パネリスト：各研究発表者

16:55～17:00 閉会

浜田和孝 (品質工学会副会長)

研究発表大会後、17時15分より、懇親会を開催します。懇親会のみ参加はできません。

参加申込は、学会HPから可能です。

大会開催の最新情報は、学会HP (<https://rqes.or.jp>) を参照ください。